

環境委員会

5月・6月 環境整備委員会の活動がありました。作業もスムーズでした。皆さんお疲れさまでした。

**太陽光発電システムが完成しました！**

「芝桜プロジェクト」が実施されたグラウンド脇の法面。その隣に、昨年の10月から工事が行われていた太陽光発電システムが完成しました！

太陽光パネルは三菱製で、265Wのパネルが40枚使われた約10kWのシステムになります。年間、約9800kWの電気を作る事ができます。

発電した電気は、日常で使用することはもちろんですが、停電時などの非常時に使用可能とのこと。安心ですね。

パネルのフレームは塩害・雨・埃に強い耐蝕性防汚フレームを採用。パネルも垂直積雪2m以下までに対応しており、耐久性もばっちり。光を電気に変える効率が高いため、冬場や低日射でもしっかり発電する…らしいです。頼もしいですね！

**研修委員会**

7月12日
今年もかがやき学級がスタートしました！



お悔やみ
小学部付
木村 臣司先生

す。を中し謹
おにしん
祈心よんで
いたります
しごめと
ま冥福と



9月6日 施設見学を行いました。
(オハナ、ボイス、ワクワク)

＜編集後記＞

新年度が始まってから早いもので半年が経ちます。夏休み期間中はオリンピックにきづけになった方も多かったことでしょう。今年の夏も暑い日が続きましたね。私の息子も夏バテすることなく元気に過ごしました。

10月からは2学期が始まります。行事としては七養高等部祭、小・中学部学習発表会があります。今からとても楽しみにしています。

今号に向けて原稿をお寄せ下さいました皆様、お忙しい中ありがとうございました。
(広報委員長 森)

かけはし

発行 青森県立七戸養護学校PTA
編集 PTA広報委員会
住所 青森県上北郡七戸町字蛇坂57-31
TEL (0176) 62-2331
<http://www.shichinohe-shien.asn.ed.jp>



「よろしくお願いします！」 PTA会長 大西 桂子 (高A組 大西 琴)

夏休みの宿題にと依頼されたこの原稿。オリンピック・パラリンピックの感動がまだ冷めやらぬ思いですが、まずは自己紹介させて下さい！今年の春にPTA会長に任命されました大西です。娘は肢体不自由クラスで高等部1年生です。小学部に入学して特別支援がスタートしました。と同時に、七養で先生方に娘を託し10年。この10年間で大きな変化と言えば、やはり新校舎・グランド・駐車場が完成したことでしょうか。10年も経つと「ストレッチマンが七養に来たよね？懐かしいね」など会話ができる人たちも少なくなってきました。それでも「まだまだ！」と娘からの無理難題に、チャレンジし続ける毎日です。

PTA会長という初めての役割に、不安を抱えながらも、務めさせていただいております。PTAの活動は、決して一人ではできません。皆さんのご協力があって成り立つものです。だからと言って負担に思うようでは元も子もありません。PTAの会員一人ひとりの負担が軽くなるよう、活動に参加しやすくなるよう、また保護者の皆さんの声を届ける窓口としてPTAが機能する…そんなPTAを目指していきたいと思っております。

春から体験しているPTA会長職ですが、8月まで経験したこと・感じたことを紹介させて下さい。

- 扉を開け風通しの良い校長室にお邪魔することが増えました。
- 校長先生にかけける熱い思い、他校や地域交流の太いパイプの役割などを直接伺うことができました。(お話を聞いている最中も、子ども達が校長室に顔を出し、和やかに話を聞かせていただいております。)
- 教頭先生とお話をしている中で、環境改善にどれだけ人が関わっているのかを知らされました。
- 渉外部の先生にも、親身に相談にのっていただき、分かりやすい助言をいただいております。
- 特別支援学校PTA連合会、二北三八地区 副会長も任命され、知肢併置校になった七養においても、医療の進歩で生命を維持しながら学校に通うお子さんにも豊かな教育環境を！という要望を伝えるという貴重な機会を与えてもらいました。(これまで担任の先生から学んだ経験を思い出しながら生かしております。)
- 運動会では特等席から応援！子ども達の様子や先生方の普段のご指導を間近で見ることができました。来賓のもみのき学園園長から、入所している子ども達の成長を聞かせてもらいました。
- 特P連総会があり、特別支援20校集結。意見交換や県への要望を聞き、学習の幅が広がり役割を痛感しました。
- 赤いジャージズボンにタオルハチマキを巻いた熱血先生！病氣療養中の小学部 木村 臣司先生の訃報。奥さまも肢体不自由児を受けもつ特別支援学校の教師でおられることを知りました。ご夫婦どちらも知・肢の教育に携わり、青森を愛し、若手の先生方から尊敬されていることを感じました。
- 高等部3年生の修学旅行！子ども達、先生方、見送りに来ている保護者。体調を気かけ、翌日に薬を大切に持って先生と出発し、思い出を叶えた生徒もいました。
- 成人を祝う会へ参加してもらい、懐かしい顔ぶれの先生をお見かけしたり、車椅子で参加されている方の豊かな表情を見て安心したり。自己紹介では、働いている様子や先生方へ感謝の言葉、「生まれてきて良かった」という言葉が聞かれ、卒業しても見守ってもらえることは安心感に繋がると感じました。
- 県の行政や教育に関わる人達との陳情書の聞き取りがありました。保護者の思いを代弁し伝えてきました。
- このことは学校でも同じではないでしょうか。子どもの声(嬉しかったことや気になること)を保護者が担任の先生へ伝えられたら、素直な気持ちが伝わり、学校、家族や関係機関がこれまで以上に寄り添い一体となった、より心の通った教育ができるのではないかと思います。

「関係性は専門性を超える」と言う言葉を聞いたことがあります。一人一人の専門性は低くても家族や周囲の人達に寄り添い、支えられた関係が、1人の専門家の存在を超えてしまうということでしょうか。何事も「成長のお手伝いができる！」という心構えで、皆さんからの声を感じ、気付き、行動し、伝えていきたいと思っております。未熟ながら、どうぞよろしくお願いします。



運動会小学部



運動会中学部



運動会高等部



ヤングマン

「特P連表彰について」

6月に行われた青森県特別支援学校PTA連合会総会にて、前PTA会長の荒川妙子さんに感謝状が贈呈されました。荒川さんにはPTA会長を5年間務めていただきました。ありがとうございました。



小学部

『入学式・運動会を経験して』 小学部1年7組 下田 歩さんの保護者



入学式当日、親子で初めて正装をし、少し緊張しながら学校に向かいました。小学部7組の部屋に入ると、歩の顔写真とたくさんの花が黒板に飾ってあり、とても嬉しかったです。式典では子どもたちによる「気球に乗ってどこまでも」の歌と手拍子があり、その歌声に歩がピタッと動きを止めて聞き入っていたのを覚えています。みなさんにあたたかく迎えられ親子共々幸せな一日でした。

運動会では「青森一函館おみやげ運びレース」に参加し、歩は地元の六戸にんじんを運びました。車椅子のテーブルにぶら下げられたにんじんは、7組のみんなの手作り！オレンジ色の毛糸や紙をビニール袋に詰めてできたものでした。みんなで作ったにんじんを歩はゴールまでしっかり運ぶことができました。また、家族で踊った「ヤングマン」もとても楽しかったです。

歩はこれから長い年月を七戸養護学校で過ごします。ハンディの重い歩を大切に見守って下さる先生方、本当にありがとうございます。先生方の明るい声と笑顔に私はいつも元気をもらっています。これからも、歩が元気に学校に通えますように。そして、たくさん笑って過ごせたら嬉しいです。



高等部

『入学式・運動会を経験して』 高等部1年2組 水尻 悠太さんの保護者



通い慣れた中学校を卒業し、七戸養護学校高等部に入学しました。初めは不安そうにしていたのですが、同じ保育園で過ごした仲間がたくさんいたので、本人もとても喜んでいました。又、初めて会うクラスメイトにも、自分から声をかけて仲良くできるように也成了り、親としてもホッとしています。

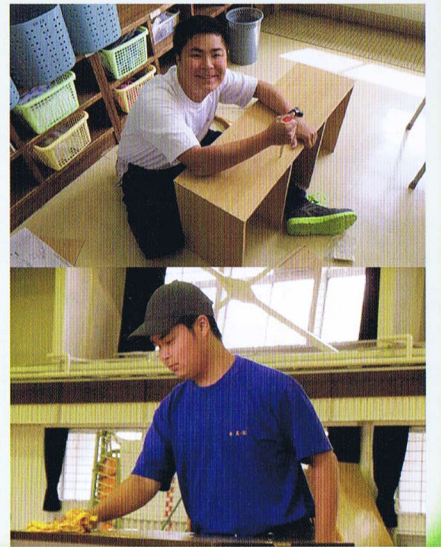
優しい先生方にも恵まれて、息子を七戸養護学校に入学させて本当に良かったと思っています。

運動会では、走ったりするのが苦手な息子だったのですが、徒競走やぐるぐるファイヤーは、真剣に走ることができ、仲間とも協力しながら楽しく参加することができていました。そんな息子の姿を見て、本当にうれしかったし感動しました。又、「ヤングマン」の曲に合わせて親子でダンスも、とても楽しかったです。私は保育士という仕事をしているのですが、保育園の子どもたちにも教えたいくらい本当に楽しかったです。来年も楽しみにしています。

高等部でこれから3年間過ごしていきますが、息子には作業や勉強などを一生懸命に頑張ってもらいたいと思います。そして、仲間との楽しい思い出をたくさん作ってもらいたいと思っています。

初めての事ばかりで、まだまだ分からないことだらけなので、色々教えていただきたいと思います。

これからもどうぞ、親子共々よろしくお願いします。



中学部

『入学式・運動会を経験して』 中学部1年7組 工藤 七伎さんの保護者



この春、十和田市立北園小学校を卒業し七戸養護学校に入学しました。小学生の時から行事等の際に七伎を連れて来ていたのでおぼろげながらも、いずれこの学校に行くと言う事を彼なりに理解していたようです。スクールバスに乗る事も小学生時の仲良しの友人達と離れ新しい先生とお友達のいる学校に通うことも新鮮で刺激的な毎日のようで、毎日笑顔でバスから降りて来ます。

新生活がスタートしてまもなく運動会の練習が始まりました。中学部は3学年揃っての組体操が大きな課題となります。学校から帰ると「こういうことをしたよ!」と体を使い教えてくれます。元々、「皆と一緒に何かをする」と言うことが大好きな七伎。本番も練習同様に緊張する事もなく知り合いのお母さんや見に来てくれ

たデイサービスのスタッフさん達に手を振りながら楽しく参加することができ、無事に競技が終わりました。

七伎にはもうひとつお楽しみがありました。それはヤングマンの登場です。かなり前からワクワクしていました。ヤングマンが目の前に現れた時は!大喜びで。誰よりも先にヤングマンの元へ走って行き張りきって「YMCA」を一緒に踊っていました♪

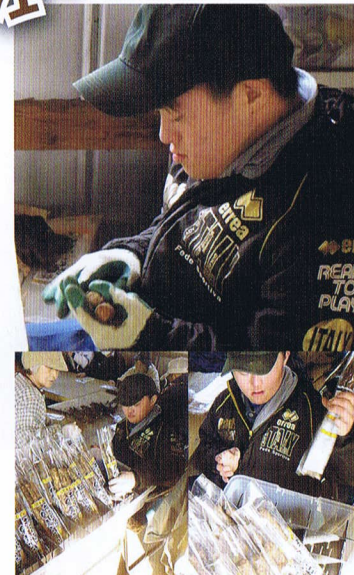
私生活では年長から始めた日本舞踊のお稽古を頑張っています。市民文化祭を始め施設への慰問や夕涼み会、秋祭り、そして八戸ストリートライブなどへのステージにも立っています。夏休み中には黒石よされにも参加。踊りを通してたくさんの方と知り合い交流し、親子でいろいろな経験をさせてもらっています。小さな時から付き合いのあるご家族も多く楽しく充実した学校生活となりそうです。これから親子共々よろしくお願いします!



『鶴』 ダウン症啓発イベントinラピアにて～

My road

『貴弘 18歳』 卒業生 荒川 貴弘さんの保護者



今年、3月に卒業した荒川です。就労先を決めるにあたり、貴弘ができることを優先に考えたところ、選択肢はあまりありませんでした。先生方と相談しながら在学中からお世話になっていたおいらせ町にある「ワークハウスサポート」という就労継続支援B型事業所に決めました。仕事の内容は、ごぼうの袋詰め、アルミ缶、ペットボトルなどのリサイクル作業、畑作業等です。でも働くとなると実習とは違い、本当にできるかどうかとても心配でしたが、やってみなければ分からないと気持ちを切り替え、送り出しました。やはり最初はいろいろ問題ありましたが、先生方やスタッフの皆さん、一緒に働いている方々のおかげで、ゆっくりではありますが、慣れてきたように思います。4月から休むことなく通っているのは、とてもうれしいです。

そしてもう一つうれしいことが…7月10日参議院選挙がありましたが、今回の選挙から18歳以上が有権者となり、貴弘も投票できることになりました。与えられた初めての権利を体験させてあげたいと考え期日前投票に行ってみました。でも字が読めない、書けないではどうするのか?…選管のかたは、少し困った様子でしたが、「写真なら分かります」と伝えると「大丈夫かも」とのこと、すると父親が、「練習してきます」と言い出し、その日は、帰ってきました。そして翌週、ろくに練習もせず、選挙広報を持って、まさかの出直し投票! 会場に入ると「よく来てくださいました〜、待ってましたよ」と歓迎され、介添の方に広報の写真を貴弘が指差しで伝え、いざ受付へ「荒川貴弘さんですね?」、「うん」…ちょっと不安気にこちらを見ながらも書いていただいた用紙を投票箱に入れていた姿は、またひとつ成長した貴弘でした。無事2つの投票を終え戻って来た貴弘に「すごいね〜! できたね〜!」と声をかけると「うん」…大人〜(*^^)v 小さなことかもしれませんが子供の成長って本当にうれしいものですね。次はどんなことができるようになるのか楽しみです。

